

平成29年度指定管理者制度活用事業 評価シート(こども文化センター)

1. 基本事項

施設名称	多摩区第3グループ(菅・中野島・南菅)	評価対象年度	平成29年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	青少年支援室長
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日	所管課	こども未来局 青少年支援室

2. 事業実績

	H28		H29		H28		H29	
	利用実績							
利用実績	1 菅こども文化センター							
	①年間延べ利用者数	24,198人	26,560人	②年間延べ利用団体数	172団体	102団体		
	2 菅小学校わくわくプラザ							
	①登録者数	356人	325人	②年間延べ利用者数	16,544人	19,356人		
	3 東菅小学校わくわくプラザ							
	①登録者数	241人	256人	②年間延べ利用者数	17,727人	19,939人		
	1 中野島こども文化センター							
	①年間延べ利用者数	38,828人	37,840人	②年間延べ利用団体数	420団体	434団体		
	2 中野島小学校わくわくプラザ							
	①登録者数	362人	377人	②年間延べ利用者数	20,665人	22,538人		
	3 下布田小学校わくわくプラザ							
	①登録者数	208人	182人	②年間延べ利用者数	11,923人	11,793人		
1 南菅こども文化センター								
①年間延べ利用者数	33,392人	30,034人	②年間延べ利用団体数	353団体	340団体			
2 南菅小学校わくわくプラザ								
①登録者数	149人	147人	②年間延べ利用者数	8,270人	10,118人			
3 西菅小学校わくわくプラザ								
①登録者数	169人	144人	②年間延べ利用者数	10,188人	9,716人			
収支実績	<p>単位:円</p> <p>1 収入 指定管理料 162,041,550</p> <p>2 支出 人件費 135,593,120 管理費 10,785,929 事務経費 8,177,973 その他経費 9,050,913 合計 163,607,935</p> <p>3 差引 -1,566,385</p>							
サービス向上の取組	<p>運営協議会、保護者懇談会、子ども運営会議、日常的な利用者とのコミュニケーション等により、利用者ニーズを把握し、館の活動や運営に反映した。また、事業者のスケールメリットを活かした全館行事、区行事やグループ行事など、地域を越えた児童の健全育成、交流の場づくりを実施した。</p>							

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進 及び 事業成果	「仕様書」を遵守して適切な事業の実施がなされているか。	10	4	8
		「事業計画」に基づき、着実な事業の推進がなされているか。			
		「こども文化センター」の運営をすることにより、児童の健全な育成が図られているか。			
		「わくわくプラザ事業」を実施することにより、放課後児童の健全育成が図られているか。			
<p>(評価の理由)</p> <p>・仕様書・事業計画に基づき、こども文化センター及びわくわくプラザ事業を適正に実施した。</p> <p>・菅こども文化センターでは、学ぶ機会が少ない縄文時代について子どもたちに知ってほしいという思いから、火おこしや土器の施文を学びつつクッキー作り等を体験する「菅でドッキ土器!!縄文体験&お泊り会」を実施したり、東菅小学校わくわくプラザでは、子どもが地域と繋がる取組として、地域寺院の副住職に協力を仰ぎながらガードレールのらくがきを清掃する「らくがき消そう!大作戦」を実施するなど、特色ある事業を展開している。</p> <p>・中野島こども文化センターでは、今年度新たに、野外活動「大地沢で芋煮会やつちやう」や川崎西法人会との共催で「企業見学会・租税教室」、児童健全推進財団企画の遊びのプログラム「新春わかしあそび」のトライアル実施など、積極的に事業を行った。こうした取り組みの結果、小学生の利用者数が、昨年度と比較して約600人増加した。</p>					
サービス向上及び業務改善	利用者ニーズ	サービス向上のために、利用者等の意見を適切に把握しているか。	10	3	6
		利用ニーズを把握し、事業実施に適切に反映しているか。			
		苦情対応など、利用者への適切な対応が図られているか。			
	特別な配慮を要する利用者への対応	特別な配慮を要する利用者への対応が適切になされているか。	5	3	3
	学校及び行政機関との連携	事業の実施にあたり、学校及び行政機関、地域の団体等との連携がなされているか。	10	4	8
	施設・事業の広報	施設を知ってもらい、事業の充実を図るための周知の活動等に取り組んでいるか。	5	4	4
運営協議会の実施	「こども文化センター運営協議会」が適切に運営・開催されているか。	5	3	3	
保護者懇談会の実施	「わくわくプラザ保護者懇談会」が適切に運営・開催されているか。	5	4	4	
<p>(評価の理由)</p> <p>・利用者ニーズについて、意見箱の活用や利用者アンケート、子ども運営会議等を通じて、利用者ニーズ把握に努め、施設運営等に利用者意見を反映している。</p> <p>・特別な配慮を要する利用者への対応として、個別連絡ノートを作成し、保護者との情報共有を行うとともに、小学校等と連携しているほか、「障がい児対応研修」を受講し、新人スタッフを含めスタッフ全員が必要な知識を学び、日々の児童対応に活かしている。</p> <p>・学校及び行政機関との連携について、学校施設開放委員会や学校行事の参加のほか、中学生の職業体験や保育実習生の受け入れしている。特に、中野島こども文化センターでは、地域のイベント「中野島音楽祭」の実行委員として、毎回会議に参加し、地域との顔つきを積極的に進めているほか、乳幼児親子からサークルを立ち上げたという相談があり、こども文化センター共催による乳幼児親子の行事を毎月実施し、結果としてサークルの立ち上げに至るなど、地域における市民活動の中間支援組織としての機能を果たしている。</p> <p>・施設・事業の広報について、ホームページやおたより等多様な媒体を用いて積極的な広報を行っている。また、こども文化センターたよりを毎月発行し、中学生向けのたよりを年に2回発行しており、保育園や郵便局、いこいの家等、様々な場所にとよりを置いてもらうなど、周知活動に取り組んでいる。特に、中野島こども文化センターでは、中学生の利用者を増やすため、中学生の意見や希望をもとに導入した遊具を写真付でたよりに掲載するなど、対象年齢を捉えた効果的な広報を行っている。</p> <p>・保護者懇談会の実施について、土曜日や授業参観日等、参加しやすい日程で開催するとともに、個別に相談しやすい関係作りを努め、アンケートで意見を募っており、ランチ作りやおやつ作りの希望が多かったため、調理体験行事の実施回数を増やす等、保護者の意見を反映している。</p>					

組織管理体制	適正な人員配置	「児童福祉施設の設置及び運営の基準に関する条例」第54条に基づく職員配置がなされているか。	10	3	6
		「仕様書」において定める職員配置の最低基準が順守されているか。			
		「川崎市公契約条例」が遵守されているか。			
	職員の研修体制	職員の資質向上のために必要な研修が実施されているか。	10	4	8
職員が研修に参加しやすい仕組みづくりがなされているか。					
個人情報等の取扱	法人として、個人情報保護に関する規定や体制を整備しており、適正に取り組んでいるか。	5	3	3	
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 適正な人員配置については、こども文化センター及びわくわくプラザにおいて、仕様書・事業計画に基づき、適正な配置がされている。特別な配慮を要する利用者についても、状況に応じた人員配置ができています。 職員の研修体制については、運営法人の10年以上にわたる青少年分野における人材育成のノウハウを活かし、全市・グループ・館ごと、または、職位ごと、分野ごとの研修など、体系的・計画的な研修が行われていた。また、館内会議やスタッフ会議等において、研修を受講した職員がその知識を共有しており、研修資料やレポートをファイル等に一元化し、職員が閲覧出来る等、共有化の仕組み作りが出来ている。特に、グループ合同研修として「リフレミング研修」を実施し、児童の行動などを、異なる視点(フレーム)から見直して、一見否定的な事象も肯定的に捉えることができるということを学んだことにより、児童に自己肯定感を抱かせるような声掛け等ができるようになり、職員の資質向上が図られている。 個人情報の取扱については、法人において定めている、個人情報保護方針及び取扱規定に基づいて、個人情報等は鍵のかかる保管庫に保管されている。また個人情報の漏洩の事実は無かった。 					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な施設利用のため、施設や設備の保守・点検を適切に行っているか。	5	3	3
		必要に応じて適切な維持・補修がなされているか。			
		備品等の管理が適切になされているか。			
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保するための体制が整っているか。	5	4	4
		事故等が発生した場合に迅速かつ適切な対応が図られているか。			
		事故防止や感染症予防対策等が事前に図られているか。			
	防犯対策及び災害時の対応	施設の防犯対策に工夫がなされているか。	5	3	3
		災害発生時に備えた対応が図られているか。			
		災害発生時に適切な対応・行動ができる取組がなされているか。			
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設・設備の保守管理については、こども文化センター・わくわくプラザ共に、施設・設備の保守点検を日常的に行い、補修が必要な場合は適宜、工事等実施している。また、中野島こども文化センターでは本棚の棚数を追加し、菅こども文化センターではカテゴリー別に遊具箱を設置し、南菅こども文化センターでは床の傷をパテで補修し転倒防止を図った。 利用者の安全確保については、財団作成の各種マニュアルに沿って、事故対応や衛生管理等を適切に行うとともに、実際の事故やヒヤリハット事例をもとに法人本部で「事例検討シート」を年2回作成し、館長会議、各館での職員会議、スタッフ会議と三階層において議論を重ね、そこで得られた対応策を集約して共有するなど、職員等の資質向上を図っている。また、遊具の遊び方やルールについての研修を実施し、職員に意識づけを行うとともに、子ども会議で共有する他、わくわくプラザで小さなケガがあった時、おはなし会で考えてもらう時間を設ける等、こどもたちへの意識づけも行っている。 防犯対策及び災害時の対応として、法人作成の「不審者対応マニュアル」や、館ごとに作成している「災害時対応マニュアル」に基づき、災害備蓄品の常備や消防訓練、避難訓練の実施等、防災体制の強化に取り組んでいる。また、学校の避難訓練にわくわくプラザが参加するなど、学校との連絡体制が構築されている。 					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	法人の規定等に沿った適切な会計処理と金銭管理がなされているか。	5	3	3
	効率的・効果的な支出	「事業計画」に沿った適切な支出がなされているか。	5	3	3
		効率的な執行に努め、経費削減に具体的に取り組んでいるか。			
		支出に見合う効果が効果が得られており、サービス水準も確保されているか。			
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 金銭管理・会計手続については、適正に行われている。 受託20グループ52施設を管理している運営法人のスケールメリットを活かし、一元的な臨時職員の雇用・管理、警備等業務委託の一括契約、消耗品や備品の一括購入等の取組により、効率的・効果的な経費の支出がなされている。 					

4. 総合評価

評価点合計	69	評価ランク	C
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

こども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に長年に渡り携わってきた経験を活かし、安定した施設運営を実施している、市内20グループの指定管理を行うスケールメリットを活かし、全グループ合同行事、区合同行事等に加え、各館独自の事業、新規事業にも取り組んでいる。特に、新規事業として川崎西法人会との共催で「企業見学会・租税教室」、児童健全推進財団企画の遊びのプログラム「新春むかしあそび」等、特色あるイベントを企画・実行した。また、各種研修に参加し、職員の資質向上に努め、良質なサービスを提供している。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

今後も、地域社会全体で子どもを見守り育てる、安全・安心な居場所となるよう、環境整備や職員のスキル向上に努め、学校、行政、地域の各団体が共に連携しながら地域づくりを進めることで、職員と子ども顔の見える関係を築き、小中高生から高齢者まで、多世代にとって、居心地のよい場となるよう努めること。